

1 部

学習サポート

4 / 1 ~ 5 / 8 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2015』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
5月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	4月22日(水)
春期スクーリングⅢ (4/24~4/29)	申込みハガキ	4月6日(月)
春期スクーリングⅣ (5/2~5/17)	申込みハガキ	4月13日(月)
夏期スクーリングⅠ (5/22~6/7)	申込みハガキ	4月30日(木)
オンデマンド・スクーリング	TFUオンデマンド 画面上申込み	4月5日(日)正午 ほか本冊子 p. 44 表参照
単位互換協定にもとづく認定単位 スクーリング(前期)資料請求締切	p. 38~42参照	4月5日(日)
単位互換協定にもとづく認定単位 スクーリング(前期)出願締切		4月15日(水)

	受付日
<p>レポート</p> <p>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)</p>	<p>4月7日(火) 4月17日(金) 4月28日(火) 5月8日(金)</p>

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内
(オンデマンド)『情報ブック』3部参照

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B-1 +★■社会福祉援助技術演習C-1</p> <p>◆社会福祉援助技術現場実習指導①(事前) スクーリング受講申込み</p>	<p>4月受講希望者 →3月20日(金) 5月受講希望者 →4月1日(水)</p>	<p>(注) 『レポート課題集A (社福・精保指定科目編)』 「★■指導B」 p. 157~162 「★■演習C」 p. 145~151 『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「◆指導」 p. 196~198 +『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p. 34</p>
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B-2 スクーリング受講申込み</p>	<p>4月1日(水)</p>	
<p>★■社会福祉援助技術演習C 1単位めレポート (スクーリング事前課題)</p>	<p>4・5月受講希望者 →4月8日(水)</p>	
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B 課題1 ◆社会福祉援助技術現場実習指導 課題1-① (実習計画案)</p>	<p>4月受講希望者 →3月20日(金) 5月受講希望者 →4月20日(月)</p>	
<p>★■社会福祉援助技術演習C 「分割型」スクーリング受講申込み (『With』105号巻末申込用紙)</p> <p>※併せて受講条件の達成も必要</p>	<p>実習免除者・来年度以降科目等履修生での実習希望者 →4月1日(水)</p>	

<p>社会福祉援助技術(現場)実習 「様式8個人記録」「様式9健康診断書」「様式10誓約書」「様式12実習先への交通手段」</p>	<p>★■指導B-1+ ★■演習C-1 (◆指導(事前)①) スクーリング当日持参</p>	<p>『実習の手引き(第1分冊)2014』 p. 40・41</p>
---	---	--

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締切日	備考
<p>◆★精神保健福祉援助演習 1単位めレポート (スクーリング事前課題)</p>	<p>6・7月受講希望者 →4月15日(水)</p>	<p>(注)</p>
<p>◆★精神保健福祉援助実習(事前指導) スクーリング受講申込み</p>	<p>5・6月受講希望者 →4月1日(水)</p>	<p>『レポート課題集A (社福・精保指定科目編)』 「◆★演習」 p. 257～260</p>
<p>◆★精神保健福祉援助実習(事後指導) スクーリング受講申込み</p>	<p>9・2月受講希望者 →4月1日(水)</p>	<p>「◆★実習」 p. 261～268</p>
<p>◆★精神保健福祉援助実習 課題1-① (実習計画案)</p>	<p>5/17受講希望者 →4月22日(水)</p>	<p>「■演習A」 p. 217～222 「■演習B」 p. 223～229</p>
<p>■精神保健福祉援助演習A スクーリング受講申込み</p>	<p>6・7月受講希望者 →4月30日(木)</p>	<p>「■演習C」 p. 230～236</p>
<p>■精神保健福祉援助演習B-1 +■精神保健福祉援助実習指導A-1 スクーリング受講申込み</p>	<p>8・9月受講希望者 →4月30日(木)</p>	<p>「■指導A」 p. 237～242 「■指導B」 p. 248～253</p>
<p>■精神保健福祉援助演習C 1単位めレポート</p>	<p>5・6月受講希望者 →4月30日(木)</p>	<p>+『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p. 34</p>
<p>■精神保健福祉援助実習指導B 課題1-① (実習計画案)</p>	<p>5/16・17受講希望者 →4月22日(水)</p>	

■教育実習・障害者教育実習・介護実習関連

	締切日	備考
障害者教育実習の事前・事後指導 教育実習の事前事後指導 実習事前 [課題] レポート	3月受講済者 →4月10日(金) ※5月実習開始者 は4月1日(水)	『レポート課題集D (特別支援編)』 「障害者実習」 p. 89~94 『レポート課題集 2014(心理・教職編)』 「教育実習」 p. 179~182
教育実習・障害者教育実習 誓約書・健康診断書（・個人調 査票のコピー）提出	5月実習開始者 →4月1日(水) 6月実習開始者 →4月15日(水)	※事前指導受講済 者のみ対象

■その他

●卒業研究

- ・ 申込締切（3月卒業希望者） 4月5日(日)

●科目等履修生（4月生）

- ・ 継続申込締切 4月10日(金)
- ・ 学費納入期限 4月20日(月)

ご卒業おめでとうございます

教員 MESSAGE

通信教育部部長・教授 寺下 明

晴れて東北福祉大学通信教育部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがここに手にされた学位記は、それぞれの学業を終えられた証であります。これまでの皆さんの努力を称え、敬意を表したいと思います。また、卒業される皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆さまにも心からお慶び申し上げます。

世の中の流れはあまりにも速く、大学の役割やあり方が根底から問われています。キャシー・デビットソンの有名な予測によれば「2011年にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就くだろう」ということです。今日では、知識量のみを問う従来型の教育や、主体的な思考力を伴わない協調性は、もはや通用しなくなってきました。これからの時代を見ずえて、どのような能力やスキル、あるいは人間性が必要なのか。このことを意識しながら、本学通信教育部では、さまざまな大学教育の改革に取り組んでいるところです。

そもそも、大学はなぜ存在してきたのか。それは、大学が物事を徹底して考えてきたからだと思います。だからこそ、大学での学びについて、単なる知識の獲得ではなく、考える習慣や考え方を身につけることが大切だ、と言われ続けてきたのだと思います。知力の及ぶ限り考えるためには、既存の価値や思考法に縛られることなく、自由に考えることが重要です。大学には、考える自由があります。大学は、社会から、考えるという人間の営みを信託されているということになると思います。

知識基盤社会を生きるためには、知識や情報は確かに必要です。しかし、知識を何の疑いもなくそのまま信じてしまうのは危険です。特にインターネット社会の今日、それを強く感じています。単純な問題は、イン

ターネットで簡単にアクセスでき、検索という形で容易に答え探しができます。レポートを課すと、インターネット上の知識・情報などをいわゆるコピペして、同じレポートがいくつも出てくるといった笑えない状況があります。そして、考えない。知識や情報が増えれば増えるほど、人は考えなくなってしまうのではないかとさえ思ってしまう。

『論語』に「学びて思わざれば、すなわち罔し」という言葉があります。本を読み、多くの知識を蓄えても、自ら考えなければ、本物の活きた知識にはならないといった意味でしょうか。インターネットで何かを調べようとする時、ひとつずつ情報が出てきて、それが片付いたら、次、そして次というふうに知識を積み重ねていく、このことは、それ自体重要なことだと思います。しかし、何か全く新しいことを考えようとする時は、頭のなかにある異なる分野の知識、さまざまな事柄を柔軟につなぎ合わせ、その可能性を総合的に組み直し、自分の頭のなかで整理する必要があるわけです。このことが考えることの本質だと思っています。

通信教育は、自ら主体的に学ぶ自学自習が基本です。このことは大きな意義もっています。それは、知識を得て、自分の頭でものを考えることにつながるからです。本学建学の精神である「行学一如」も、結局、どれだけ学んでも、その学びを自分の身に引きうつして考えることがなければ、実生活に反映される真の知識になり得ないということなのだと思います。しかし、そうはいても、物事の本質が何であり、何が正しく、何がそうでないかを客観的に判断するのは大変難しいことです。そこで、皆さんは、考えが独善に陥らないように、印刷教材やオンデマンド授業などさまざまなメディアを組み合わせることによって、多角的に学んできたことと思います。さらに、スクーリングを含め、教員や学友との交流やつながりによって、これまでになかった知とふれ合うこともできたことでしょう。

振り返ってみれば、長いようで短い大学通信教育生活だったのではない

でしょうか。しかし、この期間に、皆さんの知的な力は、間違いなく大きく成長したはずです。知識の量が増えたというだけでなく、知識の質も変わったはずです。演習や実習をとおして、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決してきたからです。これからの時代、物事の本質を見極め、問題を解決するためには、考える方法としての学問がますます重要になります。本学の通信教育部に学んだ皆さんは、その基礎をしっかりと身につけてこられたと思います。その果実は、時間をかけて徐々に成熟していくものと考えます。

卒業は commencementと言われるように、一つの区切りであると同時に新しい出発を意味します。新しいスタートについた皆さんを、東北福祉大学はこれからも応援していきます。卒業する皆さんが時には母校を訪れ、また同窓会活動の場として、あるいは生涯の学習の場として、これからも通信教育部を活用されることを願っています。皆さんのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。ご卒業おめでとうございます。